

広 報

ふじかわ

12月号

昭和55年12月20日発行

No. 233

町のメモ

昭和55年11月1日現在

人口	17,003人
増減	- 31人
男	8,439人
女	8,564人
世帯数	4,285世帯
面積	31.09km ²

富士川町 総務課



しめ飾り作りなら
わしらにまかせておきな

(表紙のことは2ページに)

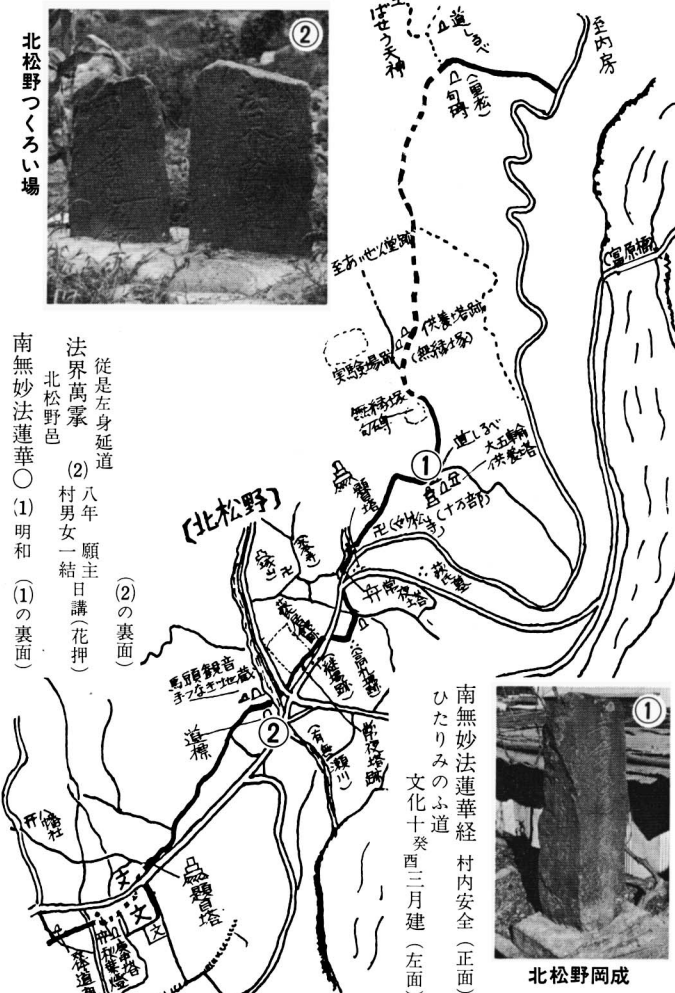
町の今年の目標
「きれいな町にしましょう」

今も名残をとどめる 甲州街道(みのぶ道)



甲州街道(みのぶ道)は、岩淵(小山)木島(南松野)北松野(内房(芝川町)塩田(芝川町)万沢(山梨県)へと富士川沿いに北上する、駿河国(静岡県)と甲斐国(山梨県)とを結ぶ交通路とし、古くから開かれていました。戦国時代には武田氏と今川氏とのたび重なる合戦の道として、また東海道筋から日蓮宗総本山の身延山久遠寺へ善男善女の参詣の道として、そして塩や魚など、生活必需品の交易路として発達してきました。しかし、明治38年(一九〇五)新しい道が開通すると同時に、往来する人もなくなりさびれてしまい、現在では、ほとんどが山道や廃道となってしまいましたが、松野地区の一

部は、今も子どもたちの通学路として名残りを留めています。この道筋には、道標、題目塔、馬頭観音、供養塔、常夜塔など、数百年後の今日、欠けることなく残っています。これらの石造物は、村の安全や旅の安全などを祈願する村人や旅人によって建立されたものですが、当時の強い信仰心がこれらによりうかがえます。長い年月の風雨に耐え、いくつもの歴史を経験し、またいくつもの歴史を生み、私たちの富士川町とともに栄枯盛衰を繰返してきた甲州街道。そして、そこに設置された石造物を、私たちは、もう一度見直してみようではありませんか。



北松野岡成

北松野つくろい場
②
北松野つくろい場
法界萬蒙 八年 願主 日講花押
村男女一結
北松野邑
南無妙法蓮華經 ○(1)明和 ○(1)の裏面

表紙のことは

宮町白寿会老人クラブ(野澤義雄会長)では、五年前から老人クラブ活動の一環として年末になると、宮町区の全世帯を対象に安価でしめ飾りの注文を取り、同クラブ会員二十五人が約一週間くらいかかしめ飾り作りを行っている。12月9日、広報「ふじかわ」が宇多利児童館の近くにある作業場をたずねたところ、今年には宮町区以外にも注文が殺到し、全部で三百五十セット(「セツ」が四種類)とか、嬉しい悲鳴をあげていた。野澤会長に、このしめ飾り作りの動機をたずねると「今の若い人に作れといつても無理でしょうが、私たち年寄りには、昔、親から教わっているから、誰でも作れるんですよ。ですから、こうして年寄りが集ってお互に世間話をしながら、これを作るのに精を出し、また区民にも喜んでもらえる。それに、利益の一端は歳末助け合い運動にも寄付することができ、一石三鳥にも四鳥にもなるんです」と語っていました。

今回は、道筋に現存するものと移転されたものを含めた石造物の中から、道標を取り上げてみました。この石塔類には題目(南無妙法蓮華經)と道程などが刻銘されてはいますが、題目は、日蓮宗独自の書体で「法」の字を除く六文字の筆先を髭(ひげ)のような形で長くはねて書きまますので「髭題目」と呼ばれています。また往來する旅人の道案内の役目が併記されていますので、石材や大きさおよび築造年代の違いはあれ、みな題目道標と称されています。



▲南松野バス停横(元北へ50mくらい離れた吉添の身延街道筋)
▼南松野まるさき



寛延二己巳年七月日
施主
題目講中捨四人根方与
望月与五兵衛共重代
南無妙法蓮華經 みのぶ道 (裏面)

功徳主宝永二乙酉年
圓住院父恩日諒 敬白
逆修立 九月十五日
是 右ハみのぶ道 ま○
み (裏面)

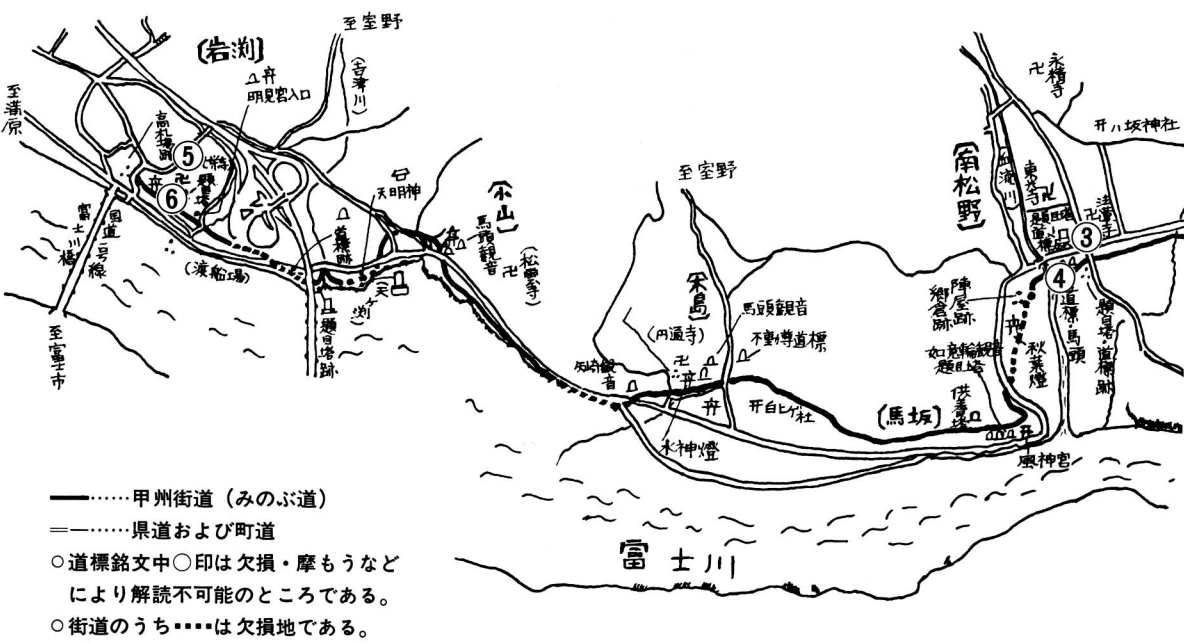
六老僧蓮華阿闍梨
南無妙法蓮華經 當山開闢日持聖人(正面)
駿河国松野永精寺



元禄五壬申年六月十三日(右面)
南無妙法蓮華經 界法 (正面)
是も身延道 谷口法悦 (左面)



▲岩測光栄寺境内(元吉津)
▼岩測光栄寺参道入口
右 武劫本所
毛利藤左衛門○宣辰 建立 (裏面)
北松野江一里半
身延山道 万澤江三里半 (右面)
南松野江三里
南無妙法蓮華經 (正面)
享保十六辛亥年五月吉祥日 (左面)



また一つ楽しい施設ができました

富士川地区に簡易老人憩いの家がオープン

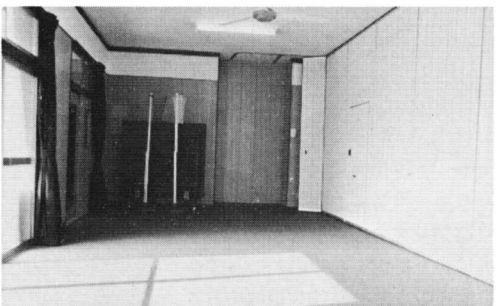
お年寄りの「生きがい」とは何でしょうか。総理府老人対策室の行った「老人の社会参加に関する調査」(昭和53年)によると、トップは「息子や孫の成長」で三割、それに続いて「職業・仕事の三割」趣味・娯楽が一割五割となっており「社会活動」をあげた人は、わずかに四割に過ぎません。そして問題なのは「生きがいを持たない」と答えたお年寄りが二割もあるという事実です。「息

子や孫の成長だけ」と「生きがいなし」を加えると、実に六一割にもなり、ここに受け身で孤独な「現代の老人像」が浮び上がってきます。そこで町では、このような孤独なお年寄りのいない「明るい町づくり」を目指し、宇多利児童館(宮町)に簡易老人憩いの家を併設しました。

今月12日にオープンした、同憩いの家を写真で紹介します。



お年寄りを待つ憩いの家



ゆったりくつろげる集会所

ここではあなたか主役

同工事は、8月21日から約一千二百二十万円をかけ着手したものです。工事内容は、既設の宇多利児童館集会所にカーペットを敷き約三十平方メートルをスライディングドアで仕切り、座ってくつろげる集会所と水洗トイレに改築。また同集会所の南側に十畳の静養室と風呂場(南松野の老人憩いの家と同規模)を増築し、11月20日に完成しました。

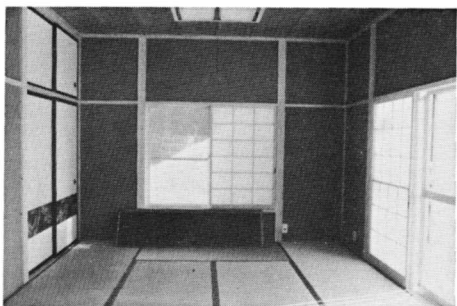
町では、同憩いの家の完成により、子どもたちとお年寄り、そして宇多利児童館を中心に活動している宇多利児童館母親クラブなどの母親が一堂に会することができるようになり、今後は各世代で、こ

こを拠点にそれぞれ活発な活動をし、たとえば、子どもと母親はお年寄りとゲートボールを楽しんだり、逆にお年寄りはお飾り作り、手打ちソバなど、昔からの伝習を子どもや母親に伝えたり、母親の人形劇を子どもとお年寄りが一緒に楽しむなど、子ども、母親、お年寄りの三世代交流を図れる場となることを期待しています。

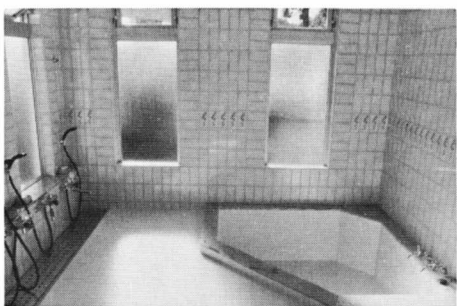
なお、同憩いの家は12月12日からオープンし、土・日曜、祭日以外は午前9時から午後3時まで開館しています。みなさんがここを利用したい場合は、各老人クラブ単位で役場民生課福祉係(八一一一―一四四四)に簡単な使用申

込書を出すだけで、自由に一日を楽しむことができます。また、同憩いの家の後方の高台には、中之郷地区の氏神様である宇多利神社もあり、みなさんで一度出掛けてみるのもよいでしょう。

この他に町では、南松野にある老人憩いの家(鉄筋コンクリート造り平屋建て)に鉄骨造りの二階部分を増築し、児童館を併設する工事を10月21日から行っています。計画では、二階の延べ床面積は約二百六十二平方メートルで、放課後や日曜・祭日、子どもたちが活動するために図書室、遊戯室、集会所などを設け、来年2月下旬には完成する予定です。



集会所につながる静養室



広いお風呂場

子どもたちとの交流の場にしたい

町には、今回オープンする簡易老人憩いの家の他に、もう一つ南松野に老人憩いの家(小車荘)があります。この小車荘はお年寄りに人気があり、54年度に利用した人は七千七百五十五人もいました。そこで、新しい簡易老人憩いの家も小車荘と同様、人気のある施設にするにはどうしたらよいか、主役となるお年寄りや、母親クラブ員にお話をうかがってみました。



雄 義 さん (宮町)

ここは小車荘とは違って、役場で利用日の割当てをしないから、私らが都合のいい日を申込みば自

おもちゃがノドに

もおすぐお正月。お正月には、おもちゃに注意。おもちゃがノドにつかえて苦しみ、なかには窒息死する人もいます。

お年寄りは、おもちゃを食べる時十分気をつけるよう注意しましょう。

ゆつくり食べる

おもちは消化がよいのは確かですが、粘り気が強いので、よくかまないで飲み込むのは危険です。お年寄りには、うんとやわらかく

ど、ここにはゲートボール場がないから、なんとか作ってもらいたいね。



安 野 さん (本通一)

今の世の中は核家族が進んで老人と子どもが話し合う機会がありません。だからこういふ所で、子どもらと話しをし、私らが若い者を見直したり、逆に若い者が私を見直してくれ「おじいちゃんやおばあちゃん、こんなにいいものか」と理解してくれるような、交流の場にしていきたいものだね。それが、今の社会全般のズレをなくすことにもなると思うよ

るような場合には、一刻も猶予はなりません。上半身を高めにして寝かせ、近くの医師を呼ぶことで

もし、つかえたら

口を大きく開けさせ、中におもちが見える時は、指で引張り出します。あるいは、こたつの上などに腹ばいさせ

お年寄りが知って得るNO.1

引き出すこともできず、胃袋にも落ちず、だんだん顔色が悪く

現況届の提出は

誕生月に変更

厚生年金または船員保険の受給者は、昭和56年から「現況届」の提出期限が変わります。現況届の提出期限は、これ

まで通算老齢年金および特別老齢年金

金については毎年1月15日、遺族年金、通算遺族年金および特別年金については毎年4月15日、障害年金については毎年7月15日となっておりますが、昭和56年1月(障害年金については昭和56年7



松 市 さん (根方)

私は松野だから、あまりこちらに来る機会がない。松野の方の年寄りはみんなそうだと思うね。だから、これからは小車荘とこの憩いの家を交互に利用したいと思



井 口 さん (宮町)

私たちが母親クラブでは、毎年お年寄りと子どもと交流をはかるため、しめ飾り作りを行っているんです。子どもたちがお年寄りにしめ飾りの作り方を教わり、その後私たちの作ったおしるこをふるまうんですね。これからは、こういう機会をたくさん計画し、お年寄りに手打ちそばの作り方を教えてみたいわ。私も作り方を知らないんです。

月)から年金を受けている人の「誕生月の末日」に変わります。

現況届の用紙は、提出期限の約一ヵ月前(誕生月の前月)に社会保険庁から直接本人に送付されます。ですから、昨年までは12月に現況届の用紙が送られていた老

年金、通算老齢年金および特別老齢年金の受給者のみなさんのうち今年から、一月生まれでない人は12月に送付されません。なお、現況届が期限までに提出されない場合は、提出されるまでの間、年金の支払いが差し止められますから注意してください。

火災などに対する 岩瀬地区の守りがより万全に

岩瀬地区に火事などの災害から守る。町消防団第二分団車庫が11月29日、上町の八坂神社入り口に新築され、12月5日旧第二分団車庫から移転しました。同分団車庫は、これまで旭町の山梨交通バス

停横にありましたが、ここに役場庁舎に併設されている庵原地区消防組合・富士川消防所が移転することとなり、9月20日から上町に新築工事を着手したものです。新しい第二分団の車庫は、鉄骨平屋建て、床面積約八十二平方メートル。総工費は約八百八十万円で、消防ポンプ車用の車庫と会議室などが設けられています。



新築なった第二分団車庫

また、旧第二分団車庫も富士川消防所が移転することにより、車庫内の一部を改造、仮眠室、食堂通信室が設けられ、12月5日から業務を開始しています。これにもない、役場庁舎に併設されている同消防所の建物は、図書室などを設け、みなさんが利用しやすい役場庁舎に、近い内に改造を行う予定です。

これは余談ですが、急救車の要請や火災などの連絡は役場にすればいいと多くのみなさんが思っているようです。しかし、これらの連絡は従来から「一九番」になつていましてみなさんもこれを機に改めましょう。一九番を回すと、庵原地区消防組合・蒲原消防署が出、あなたの連絡により富士川消防所から急救車なり消防ポンプ車が出動するわけです。

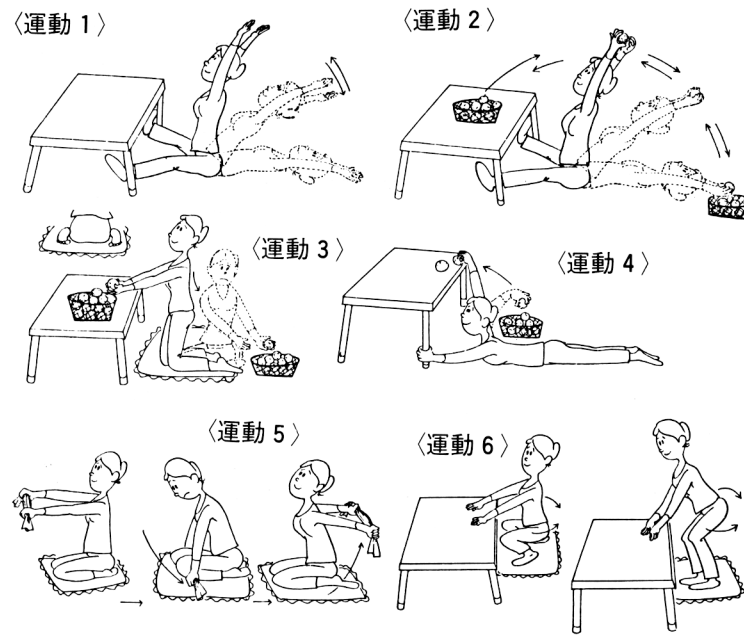
リズムあれこれ

(その十二)

今月は「こたつの中でちょっと動いて」と題し、こたつを利用した運動を紹介いたします。

運動1 腹筋の運動をゆっくりこたつの脚に両足をかけ、ゆっくり倒れゆっくり起きあがる。

運動2 腹筋の運動を早くこたつの上にミカンを置き、それを早く取って自分の頭の上に置いたもう一つの入れ物に入れ替える。



運動3 ひざ立ちの姿勢でミカンを取り、そのミカンを見後に置いてあるミカンの器へ体をねじって入れる。

運動4 こたつの脚を片手で持つて、ミカンでも何でもよいが腹ばいの姿勢のままこたつの上に置く。

運動5 座ぶとんに正座し、両手にタオルを肩幅より左右十センチずつ広く持ち、座ったままの体の下をタオルを通し、両手を回転させて元の姿勢に戻る。

運動6 座ぶとんの上で、ソソんきよの姿勢をとり、右、左とツイストを行う。また両手をこたつの上に置き立って行う。

かぜの予防と初期の手当

おかせさん栄養バランスに一工夫を

かぜをひきやすい季節です。かぜにかからないようにするには、ふだんから体に抵抗力をつけておくことが大切です。そのためには、適度な運動で体力を維持するとともに、乾布まきつや薄着の習慣をつけて皮膚を丈夫にし、体温の保持をよくすることが大切です。また、規則正しい生活を保ち、過労にならないよう注意しましょう。

かぜをひいた——と感じた初期の段階では、寝る前に温かい飲み物や熱いうどんなどで体を温めるのが効果的です。これは、食事による発汗療法となり、安静、保温解熱という、かぜの治療の原理に一致するからです。

◎とくにビタミンCを
寒くなると、体内の熱がうばわれますので、タンパク質や脂肪の多い食品をとって体温の保持を心

また、おなじみの卵酒も、体を温めて気分をリラックスさせる働きと、卵の栄養分が相まって効果

あなたご家族のために、おかせさん、ぜひ「わが家の料理」を工夫してみましょう。



があります。

一方、症状が重くなり、高熱が続くようになると、体内のタンパク質が健康時の三〜四倍も破壊され、食欲の減退で摂取カロリーも減ることから、体力の衰えが目立つようになります。こういう症状の場合は、消化機能が低下していることも考慮に入れ、できるだけ消化・吸収がよく口当りのよい食事を心がけましょう。その意味でも鶏卵は栄養分にすぐれ、料理の変化もつけやすいことから、理想的な食品といえます。

さらにかぜは精神的な要素——気分——が大きく作用します。「かぜ退治にはこの料理」といった「わが家の一皿」をつくっておくと、精神安定剤的な効果をもたらし、回復への足がかりとなることがあります。

年金の豆知識

(その五)

Q 今年も国民年金の改正が行われたそうですね。毎年変わっているようですが、今度の改正の趣旨を教えてください。

A 国民年金は、今まで加入者が受給者の利益を守るために、毎日改善をしてきましたが今年少し違った立場から法律改正をし、一層改善を図ったわけです。もともと国民年金は、毎年の物価スライドにより、年金額が目減りしないよう調整してきましたが、この他に大体五年を区切りにし、それまでの国民生活水準などに著しい変動があれば、それに応じて給付水準

Q 給付のほう改善されるのは大変うれしいことですが私たちの納める保険料は、どうなりますか？

A 国民年金の給付額は毎年増額されますし、年金受給者は年々増えるばかりですから、保険料も少しづつ増えていかざるを得ません。今年の月額保険料三千七百七十円は今年の改正で、来年の4月から四千五百円に上がりますが、昭和57年から先は、毎年4月に最低三百五十円は上がることになりました。

年金額改定の足取り									
55	54	53	52	51	50	49	48	44	41
5	4	3	2	1					
財政再計算—改定	物価スライド	財政再計算—改定	物価スライド	財政再計算—改定	物価スライド	財政再計算—改定	物価スライド	財政再計算—改定	物価スライド

戸籍の窓

55・11・11・30

(敬称略)

おめでた

区名	出生児	保護者続柄
相生町	齋藤ひろ美	弘幸 長女
四十九町	数崎 晃大	正明 長男
宮 町	菅澤 陽子	正美 長女
小池	佐野 貴司	守男 二男
幸 町	前田 裕香	恒美 長女
東町二	古波藏 喬	清吉 二男
南町二	高岡 瑞穂	伸行 長女
富士見町	清水 千裕	聡 長女
八幡町	八木 紗織	高次 長女
清水町	石川 達也	進 二男
大北町	佐野 祐介	五十三長男

一里塚



四季——春・夏・秋・冬、四つの季節。

春は、母の胸に寝息をたてている赤ん坊のような暖かな季節。

夏は、燃える太陽の下、はちきれそうな若者の季節。

秋は、夏の日焼けをさます、涼しい夕暮れ季節。

冬は、北風小僧が路地から路地へ顔を出す季節。

でも、今年の夏はどうでしたか。真夏日と呼べる日が幾日あったでしょう。日に焼けた肌がヒリヒリ痛い思いをした人は何人いたでしょう。涼しい……。そう涼しいという言葉がビッターリしている夏でした。過ごしやすかったか

れども何かが足りない夏でした。夏の暑さがもたらす何かが――。

秋になってからは、夏足りなかつた暑さがジワリジワリと戻つてきたような暖かな日々が続きました。

稲の穂はこうべをたれず、青田刈りをするところが多かつたのか。夏の足りなかつた暑さが関係しているのでしょうか。

冬になってからは、朝夕冷えることもありますが、屋中は暖かな日々が続いています。

でも、冬本番に向かい、今までの暖かき、冬の夜の雷など、前年までの冬よりずっと冷えるようです。体調をくずさないよう心がけ、新しい年を迎えたいと思ひます。それにも、日本特有の四季は、これからどうなっていくのでしょうか。

(美恵子)

かなしみ

区名	氏名	年齢
小山	常盤 せい	八四
相生町	齋藤 次平	七八
舟山町	齋藤 友吉	八四
新町本町渡邊	徳次郎	七七
宮 町	小関郁次郎	七四
八幡町	錦織 峰吉	九〇
大北町	望月 百松	九三
儘下町	小川 金雄	七二

町への寄付金

(敬称略)

三十万円	中央公民館建設基金へ
三十万円	新町本町 若月 昭男
三万円	交通安全施設整備費へ
坂 町	簗 義仁
三十万円	中央公民館建設基金へ
相生町	柳下 寿男

編集後記

今年暖冬のせい、いつもこの時期になると黄金色となるミカン山が、緑色の方が多いような気がする。やはり、この町で育った私にとってみると、ミカン山が黄金色にならないと冬が来たような気がしない。しかし、12月中旬になると、寒さだけは例年なみとなつて来た。みなさんも体に充分気をつけて明るいお正月を。

おかあさんの

知恵袋

先月に引き続き、年間を通して私たちの活動を紹介しますと、その三つ目は休耕田を利用した野菜作りです。北松野大北町の三・三町の畑に、6月には落花生を播き、10月の町民体育大会のバザーに参加、収益三万円を得、運営費の一助にしました。現在は玉ねぎの苗を植え、そら豆を播き、2月には馬鈴しょを植える計画を立てています。

最近の活動としては、当町への大型スーパーの進出が具体化されたことや、年末商戦も始まり折柄、12月4日、婦人会館で町商工会青年部のみなさんと話し合いを行いました。同席上、私たちが先に行いました「町内消費者の買物実態調査」をまとめ、次のような報告をしました。

一店頭に品物を豊富に置いてもらい、価格も安価に。
二食料品など生活必需品は町内で買うが、急に必要でない衣料品などは、富士市とか富士宮市に出向いて買う。
三地元商店への要望としては「品質・鮮度」「品物の種類を豊富に」「価格」の三点の改善努力の声が大い。

今回は、この会の内容を紹介します。

富士川短歌会

11月詠草(天野寛選)

木 島 角替千鶴子

半月振りの雨のあがりて夕富士の頂にわか雪は積りぬ

宮 町 若月 幸江

月余りギブスに足を固定せし夫の繰言一日は長しと

上 町 植松 法子

咲き初めし白きざんかに並みたてるエリスリナは終の花一つもつ

宮 町 山田たか子

まぬかれし特別室の船旅は時の過ぐるをただ忘れしむ

相生町 長谷川ゆり子

雑談となる時の間を辞書を繰り推敲重ぬる歌会の若きは

小 池 中川しな子

山畑に風荒立ちて里手の打ちなびきつつ萎すれる音

本通り 長橋 安子

亡き夫の十七回忌にその遺詠彫りたる石を墓の辺に建つ

小 池 佐藤 ちよ

黄の蝶の露にぬれつつ果てたるを今朝は見つ庭の冷たき土に

宮 町 荻野 敏音

農長くいとむに今日草刈りて実のはしく音におどろきにけり

新 町 菊地 信義

秋更けし飯盛山に十九士の伝ふる聞けば目頭あつし。